

RST

Respiration care Support Team
(呼吸器ケアサポートチーム)

がん化学療法・頭頸部放射線治療を
受ける患者さまへ

がん化学療法・頭頸部放射線治療による 口腔内への影響

- がん化学療法は、がん細胞のみならず全身組織への為害作用をもっており、口腔内も他臓器とともに抗がん剤による影響を受けます。また頭頸部放射線治療でも、口腔が放射線照射野に含まれる場合は、100%放射線の影響を受けます。



口腔内への影響として最も問題となるのが、**口腔粘膜炎**です。

口腔粘膜炎は、治療開始後10日～2週間で発生し、がん化学療法の30～40%、頭頸部放射線治療では全例に出現すると言われています。

がん化学療法・頭頸部放射線治療に伴う 口腔内トラブル

- **口腔粘膜炎**

→出血や疼痛、それに伴う開口障害を起こし、食事摂取量の減少を招き、生活の質を著しく低下させる

- 唾液分泌低下、口腔内乾燥

→乾燥を引き金にう蝕や歯周病の進行など新たなトラブルを引き起こしやすい

- 味覚障害、嚥下障害

- 顎骨壊死

- 骨髄抑制による免疫力低下

化学療法と放射線治療の併用により、口腔粘膜炎の度合いは相乗的に強くなります

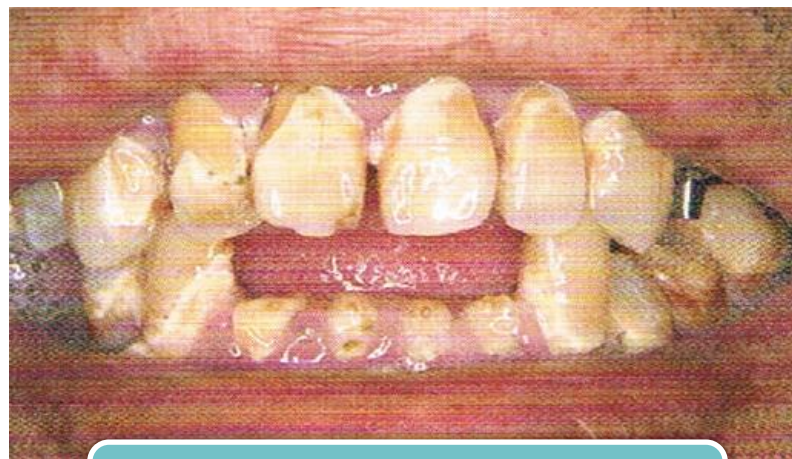


口腔粘膜の損傷、浄化作用低下に対する保清維持が大切です

がん化学療法・頭頸部放射線治療を受ける 患者さまの口腔内トラブル



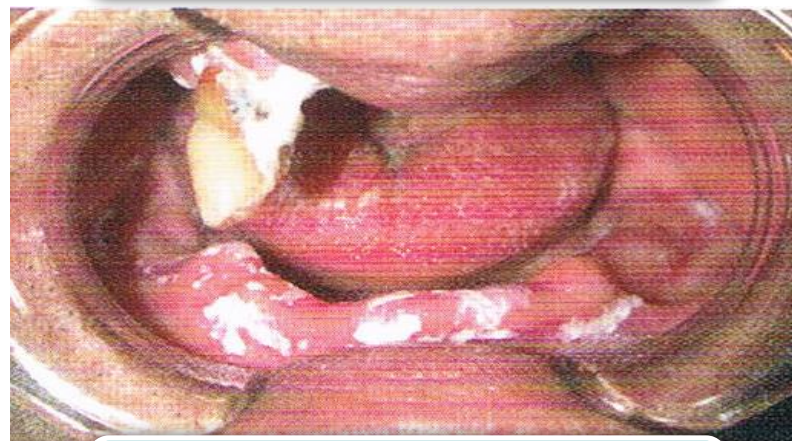
口腔内乾燥



う蝕



頬の粘膜炎



カンジダ性口内炎

口腔粘膜炎をきたしやすい抗がん剤

抗がん剤の種類	抗がん剤名(一般名)
抗腫瘍性抗生物質	ブレオマイシン、ドキソルビシン、ダウノルビシン、アクチノマイシン
トポイソメラーゼ阻害薬	イリノテカン、エトポシド
代謝拮抗薬	5-FU、メトレキサート、S-1、カペシタビン、シタラビン、ゲムシタビン、ヒドロキシウレア
アルキル化薬	ブスルファン、メルファラン、シクロフォスファミド
白金製剤	シスプラチン、カルボプラチン
微小管阻害薬	パクリタキセル、ドセタキセル
分子標的治療薬	エベロリムス、テムシロリムス

がん化学療法・頭頸部放射線治療による 口腔粘膜炎や疼痛のある方の口腔ケア

1 治療開始前

- 口腔粘膜炎や味覚障害等の口腔内トラブルについて医師や看護師から説明を受けます
- **治療開始前に口腔内の状態を把握し、改善しておくことが大切です**

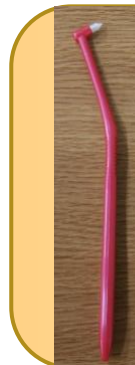
2 治療開始時

- **歯磨きや保湿**（うがいや口腔保湿ジェル・液体スプレーの塗布）などのセルフケアを継続します
→ 歯磨き粉がしみる場合は、発泡洗浄剤不使用の低刺激性歯磨き粉を使用しても良いでしょう
- 口腔内のクーリングを行うことも有効です（氷片やアイスをなめる）

がん化学療法・頭頸部放射線治療による 口腔粘膜炎や疼痛のある方の口腔ケア

3 口腔粘膜炎発生時

- クーリングを中止し、**歯のブラッシングと含嗽**のみの口腔ケアに変更します（柔らかい歯ブラシやヘッドが小さいワンタフトブラシ、スポンジブラシなどを使用）
- 粘膜炎部位への接触や刺激を避けます
- ステロイド軟膏や保湿ジェルの使用は、**感染（口腔カンジダ症など）**を引き起こすため使用は中止します
- **痛みが強い場合は、食事前に鎮痛薬の内服を行うこともあります**



ワンタフトブラシ
普通の歯ブラシよりヘッドが小さく柄が細いため、口腔内の炎症のある部分を避けて歯を磨くことができ、口内炎や出血のある方に適している

がん化学療法・頭頸部放射線治療による 口腔粘膜炎や疼痛のある方の口腔ケア

- 症状に応じて処方された**含嗽剤でうがい**を行います
(起床時、毎食前後、就寝前など8回/日以上)
 - ◆ネオステリングリーン:殺菌作用
 - ◆含嗽用ハチアズレ:消炎作用
 - ◆HKS含嗽液:消炎・鎮痛作用
 - ◆キシロカインビスカス、キシロカインゼリー:鎮痛作用
 - ◆PAG液:口内炎予防、口腔粘膜保護

※キシロカイン混入の含嗽剤は、食事摂取時の痛みを緩和させるために、食前に使用します。その際薬液は口腔内にとどめて、飲み込まないようにして下さい

※処方された含嗽剤は、医師や薬剤師の指示通りにご使用ください

がん化学療法・頭頸部放射線治療による 口腔粘膜炎や疼痛のある方の口腔ケア

4 口腔粘膜炎回復期

- 口腔粘膜炎のピークが過ぎると、粘膜が再生し徐々に元の状態に戻るため、そこから通常の口腔ケアに戻します
- 治療時の口腔状態やケア方法を評価し、次の治療に向けての口腔ケアの見直しや対策、歯科治療の計画立案を行います



おわりに

- 口腔ケアの「抗菌作用」「湿潤作用」「自浄作用」を有効に行うためには、清潔保持と乾燥予防が最も重要といわれています
- がん化学療法や頭頸部放射線治療を受けられる方は、治療開始前から歯科を受診し口腔評価を行い、治療計画を立てておく必要があります。治療開始時のセルフケアによる保清・保湿の継続が、口腔粘膜炎の発症と予防に重要です
- 最後に、今回の内容は一般的なものであることをご了承ください



お気軽にご相談ください